

## 2025年度 ニチキッズ本厚木駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（水）～3月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施しました。
保育施設の評価	評価日	2026年3月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討しました。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもの最善の利益を考慮しながら子ども一人一人の気持ちを受容し寄り添う保育をしてきました
子どもの発達援助	個々の発達に沿った計画を立案し、子どもの想いを大切に柔軟な保育の実践を行いました。子どもの自己肯定感を高められるように関わりを持ち、自分で出来る事を増やして出来る喜びを味わえる様にしました。
保護者に対する支援	個人面談や送迎時の関わりを通して、保護者の気持ちを受容し共感しながら、関係構築に繋げられる様にしました。又、日々の様子を丁寧に伝えて安心して預けられるようにしました。
保育を支える組織的基盤	組織全体で力を入れている不適切保育の撲滅に、月一回「人権擁護のセルフチェックリスト」を行ったり、虐待不適切保育理解度チェックを全職員行い、意識を高めました。

総評
<p>保育理念、保育方針に基づき、常に子供の最善の利益を念頭に置いて、全職員が同じ認識で同じ方向を向き、いつ、誰が関わっても変わらない対応を心掛け、子どもたちの情緒の安定を意識して保育をしてきました。又、園内研修を通して保育の質の向上に努め、特に不適切保育には力を入れて、子どもの人権を守り、関わりを持ってきました。保護者とのコミュニケーションでは、送迎時や個人面談を通して家庭との連携を図りながら、家庭と園で個々に合わせた援助をする事で、共に子供の成長を見守り喜び合う事が出来ました。今後も継続して職員一人一人が自ら学び、保育の質の向上、園全体の質の向上に努め、子どもも保護者も安心して通える園作りを目指していく所存です。</p>